

一般社団法人新潟県臨床検査技師会
平成26年度第1回通常総会議案書

期 日 平成26年5月18日（日）16時20分開会
会 場 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター 3階中会議室301A

総会次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 来賓紹介
4. 表彰
5. 議長選出
6. 議長挨拶
7. 総会役員選出
 - 1) 資格審査委員選出
 - 2) 書記任命
 - 3) 議事録署名人選出
8. 資格審査報告
9. 議事
 - 1) 第1号議案 平成25年度事業報告について
 - 2) 第2号議案 平成25年度収支決算書について
 - 3) 第3号議案 平成25年度監査報告について
 - 4) 第4号議案 平成26年度事業計画（案）について
 - 5) 第5号議案 平成26年度収支予算（案）について
 - 6) 第6号議案 支部提出議案について
 - 7) 第7号議案 日臨技定期総会提出議案について
 - 8) その他
10. 総会役員解任
11. 議長挨拶
12. 閉会の辞

平成25年度事業報告

平成25年度は役員改選に伴い、4期8年に渡り技師会を牽引した松田前会長から会務を引き継ぎ事業を行った。日臨技の指導の下、これまでの会務を滞りなく遂行するために理事が一丸となって努力した。

平成25年度の事業の概要を、下記の通り報告する。

総務部

- ①平成26年度から一般社団法人に移行するために、定款の確認および各種規定の見直しを行い9月に申請が認可された。
- ②表彰関係では東臨技以外は例年通りの事業を行った。

学術部

- ①第63回日本医学検査学会のプレ学会として第89回新潟県臨床検査学会を朱鷺メッセに於いて開催した。
- ②精度管理事業は前年度までの輸送の問題点を解決し、大きな問題もなく事業を行った。
- ③検査研究部門活動は活発に開催されたが、前年度より助成金申請の数が減少して課題が残る結果となった。

広報部

- ①会誌、ニュース、ホームページがそれぞれの役割を明確にして事業を行った。特にホームページは迅速な対応に心掛けた。

【総務部】

1. 通常総会の開催

平成25年4月27日（土）ユニゾンプラザ（大会議室）において平成25年度第1回通常総会を開催し、平成24年度事業報告、同決算報告、監査報告の説明があり、また、平成25年度事業計画（案）、収支予算（案）が提案され、満場一致で承認された。

2. 会務の執行体制

1) 職務分担

平成25年度は新役員による会務の執行にあたり、学術部、広報部、総務部の3部門に理事を配置し、各部門との連携を図りながら会務を執行した。

2) 事務局体制

事務局業務が非常に多くなっている現状で、阿部事務員の努力により諸会議の準備や日臨技・北日本支部および会員との連絡・調整役を担い、又、JAMTIS運用による会員情報登録および変更作業を迅速に処理され、組織運営上、大変重要な役割を果たしている。

3. 諸会議の開催

- 1) 理事会
第1回平成25年4月27日（新潟県ユニゾンプラザ3F小研修室）
第2回平成25年5月11日（新潟県公社総合ビル3F会議室）
第3回平成25年6月15日（新潟県公社総合ビル3F会議室）
第4回平成25年9月21日（新潟県公社総合ビル3F会議室）
第5回平成26年11月4日（朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター）
第6回平成26年12月21日（新潟県公社総合ビル3F会議室）
第7回平成26年1月18日（ANAクラウンプラザホテル4F妙高）

第8回平成26年3月8日（新潟県公社総合ビル3F会議室）

2) 常任理事会

定例常任理事会は従来どおり原則として毎月第2土曜日に開催し、平成25年度は3回開催した。

3) 三役会議

急を要する案件については、メール等を利用し協議を行った為、特に三役会議は開催しなかった。

4) 各種委員会の開催

(1) 会誌編集委員会

新臨技会誌（季刊発行）第287号から第290号の編集業務のため、4回開催した。

(2) ホームページ委員会

会員への早急な情報伝達手段としてのホームページを積極的に運用するべく委員会を開催し、内容やレイアウト等の検討を行い会員から親しまれるホームページをめざした。

(3) 検査研究部門委員会議

各検査研究分野の活動計画並びに運営等を協議するため1回開催した。

(4) 生涯教育研修委員会

生涯教育委員の業務も定着してきたことから、理事会や各支部生涯教育委員と連絡をとりながら研修会予定および参加者の登録を行った。

(5) 精度管理委員会

精度管理調査の事業計画、集計処理状況把握、検討会企画の協議のため4回開催した。

(6) 表彰委員会

各種表彰の対象者選考のため1回開催した。

4. 組織対策

1) 入会対策

前年度同様、各支部役員および各施設連絡責任者の協力により入会を勧めてきた。

本年度の新入会および再入会の会員は60名であった。会員数の減少傾向に歯止めがかかったが、今後も予断を許さない状況にある。なお、本会の正会員総数は1,255名（平成26年3月現在）である。

また、技師連盟入会者（1月～12月の年単位）は平成25年12月現在26名であり、臨床検査を取り巻く環境が厳しくなる中、検査技師の社会的地位向上の為にも更に多くの会員の入会をお願いしたい。

2) 各支部との連携強化

各支部ともその地域性を生かした独自の活動が浸透し、年々活発化している。支部総会等に役員を派遣し、連携強化を図った。

5. 地域保健医療活動および公益事業

1) 新潟県臓器移植財団へ賛助会員として参画

2) 父の日企画「パパの健康チェック」へ中越支部が共催団体として参画（6月9日）

3) 糖尿病を知る集いへ佐渡支部が血糖測定で協力（6月9日）

4) すこやかとしびまつりへ中越支部が共催団体として参画（9月28・29日）

5) 第16回新潟市健康福祉まつりへ新潟支部が共催団体として参画（10月20日）

6) ピンクリボンホリデーへ新潟県臨床検査技師会として参画（10月20日）

7) 糖尿病を知る集いへ中越支部が共催団体として参画（11月2日）

8) 中越地震エコノミークラス症候群フォローアップ検査に協力（十日町市11月9～10日）

9) 糖尿病を知る集いへ佐渡支部が血糖測定で協力（11月16日）

10) 中越地震エコノミークラス症候群フォローアップ検査に協力（小千谷市12月7～8日）

6. 無料職業紹介事業

無料職業紹介事業については厚労省の認可を受けた日臨技事業であり、県単独では求人・休職事業は行えないことから、日臨技への情報登録に留め、会員へは新臨技ニュースやホームページ等で求人情報を提供した。

7. 災害関係

災害時の支援活動や会員の安否確認に威力を発揮できるものと確信している災害支援ネットワークの登録者は47名（平成26年3月現在）であり、多くの会員へ賛同と登録をお願いした。

8. 表彰関係（敬称略）

1) 第31回篠川至賞（篠川至賞選考委員会を経て平成25年4月27日通常総会にて表彰）

特別功労賞 長谷川 利 春（新潟支部）

特別功労賞 木 村 明（中越支部）

2) 平成25年度功労者表彰（平成25年4月27日通常総会にて表彰）

（1）永年会員功労者表彰

該当者27名

（2）特別功労者表彰

該当者なし

3) 平成23年度生涯教育履修表彰（平成25年4月27日通常総会にて表彰）

奨励賞 坂 西 清（厚生連魚沼病院）490点

本 間 幸 子（松浜病院）470点

堀 川 良 則（新潟大学医歯学総合病院）460点

小 林 清 子（新潟大学医歯学総合病院）460点

湯 本 千 夏（新潟県立がんセンター新潟病院）460点

新人賞 中 川 友 也（厚生連佐渡総合病院）380点

4) 第63回日本医学検査学会関連（平成25年4月27日通常総会にて表彰）

シンボルマーク賞 清 野 真紀子（二王子温泉病院）

テーマ賞 鈴 木 英 明（北里大学保健衛生専門学院）

【学術部】

平成25年度の学術部の活動は新潟県臨床検査学会、検査研究部門、精度管理の3本柱を中心の活動に加え、第63回日本医学検査学会に向けての企画、準備活動を行った。各分野長を中心に特別講演、企画の運営準備や一般演題の査読、割り付け作業にご尽力いただき、日本医学検査学会前日に開催する行列ができるスキルアップ研修会 Part V では10分野、7研修会開催に向け豊富なアイデアと長年の経験を基に企画、運営準備をお願いした。

1. 学会

第89回新潟県臨床検査学会

日 時：平成25年11月4日（振替休日）

会 場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 3階

参加人数：355人（会員264人 賛助会員 55人 非会員 8人 学生28人）

施設名	朱鷺メッセ						
階	3F		3F	3F	3F	3F	3F
会場名	総合受付	PC 受付	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
10:30			一般演題 1～4	一般演題 5～8	一般演題 9～12	一般演題 13～15	
11:00							
11:30							
12:00			ランチョンセミナーA 糖尿病診療と 検査の関わり ロシュ・ダイアグノ スティックス (株)	ランチョンセミナーB 心疾患マーカー の最新知見 シーメンスヘルスケア・ダ イアグノスティックス (株)	ランチョンセミナーC 臨床的出血症状を 呈した症例の凝 固・線溶検査値 積水メディカル (株)	ランチョンセミナーD 微生物分類同 定分析装置 バイテック MS シスメックス (株)	
13:00							
13:30			レクチャー1 糖尿病合併症 を検査する	レクチャー2 尿沈渣に出現 する細胞の鑑 別ポイント	レクチャー3 「輸血のため の検査マニユ アル」の再点 検・再考察	レクチャー4 細菌検査を外注し ている施設（技 師）のために！感 染制御の基礎知識	レクチャー5 風疹の流行と その背景
14:00							
14:30							
15:00							

《一般演題一覧》

演題 番号	演 題 名	演 者	所 属
1	当院における心肺運動負荷試験（CPX）の導入と心臓リハビリテーションチームへの参画について	吉沼 恵美	済生会新潟第二病院
2	アントラサイクリンの重急性毒性により心不全を発症し左室壁血栓をきたした1例	見辺 典子	新潟県立がんセンター新潟病院
3	肺血栓塞栓症（PE）を発症した高齢者の一例	浅野 晴美	新潟県済生会三条病院
4	塩分摂取と血圧の関係について	船浪 敦	新潟県労働衛生医学協会
5	グリコアルブミンについて一院内導入後の近況とその有用性一	近藤 善仁	厚生連長岡中央総合病院
6	AKがCKMB測定値に影響を与えた一症例	藤田 陽介	厚生連糸魚川総合病院
7	μTAS ワコーi30を用いたAFP-L3分画測定の基礎的検討	齋藤 亜衣	新潟大学医歯学総合病院
8	日立自動分析装置LAbOSPECT008によるKL6測定試薬の基礎的検討	藤原 誠得	済生会新潟第二病院
9	当院で経験した肝吸虫症の一例	西江 良介	済生会新潟第二病院
10	ヒートショックプロテイン72が及ぼす血小板への作用の解明	鈴木 英明	北里大学保健衛生専門学院
11	当院における肺癌EGFR遺伝子変異の検出	畔上 公子	新潟県立がんセンター新潟病院
12	胚盤胞凍結移植の妊娠率改善の試み	大橋 浩栄	荒川大桃エンゼルマザークリニック
13	LAMP法の使用経験	高橋 真帆	下越病院
14	当院の時間外勤務者による血液培養陽性検体処理に関する検討	小野 篤史	済生会新潟第二病院
15	当院で分離されたClostridium difficileと抗原及び毒素検出簡易迅速キットについて	土田 純也	済生会新潟第二病院

《ランチョンセミナー》

【第1会場】 ランチョンセミナーA

『糖尿病診療と検査の関わり』

ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社

IVD事業本部営業部門販売促進部企画グループ

山田 洋一 先生

【第2会場】 ランチョンセミナーB

『心疾患マーカーの最新知見

～高感度トロポニン、BNPを中心として～』

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

CIA事業部疾患マネジメントグループ

横山 知子 先生

【第3会場】 ランチョンセミナーC

『臨床的出血症状を呈した症例の凝固・線溶検査値
～凝固・線溶の基礎から新規経口抗凝固薬まで～』

弘前大学医学部附属病院

輸血部 副部長 玉井 佳子 先生

【第4会場】 ランチョンセミナーD

『微生物分類同定分析装置 バイテックMS
—質量分析を応用した原理・性能・特徴と今後の可能性について—』

シスメックス株式会社 学術部学術一課

記野 史子 先生

《レクチャー》

【第1会場】 レクチャー1

『糖尿病合併症を検査する』

講師	生化学検査	県立十日町病院	草間 孝行 技師
	神経伝導検査	富永草野病院	鈴木 善雄 技師
	血管超音波検査	新潟大学医歯学総合病院	小林 清子 技師
座長	厚生連新潟医療センター 斉藤 修 技師		

【第2会場】 レクチャー2

『尿沈渣に出現する細胞の鑑別ポイント—基本上皮細胞から異型細胞まで—』

講師	埼玉県済生会栗橋病院	臨床検査科 副科長	猪浦 一人 技師
座長	済生会新潟第二病院 小野 篤史 技師		

【第3会場】 レクチャー3

『「輸血のための検査マニュアル」の再点検・再考察』

講師	新潟大学医歯学総合病院	上村 正巳 技師
座長	新潟労災病院	山崎 健 技師

【第4会場】 レクチャー4

『細菌検査を外注している施設（技師）のために！感染制御の基礎知識』

講師	株式会社ビー・エム・エル総合研究所	検査本部次長	霜鳥 正浩 先生
	株式会社ビー・エム・エル総合研究所	長岡営業所所長	石坂 和則 先生
座長	済生会新潟第二病院	千味 和宏 技師	

【第5会場】 レクチャー5

『風疹の流行とその背景』

講師	新潟大学医学部保健学科	准教授	渡邊香奈子 技師
座長	北里大学保健衛生専門学院	鈴木 英明 技師	

2. 検査研究部門

平成25年度は、分野員の交代年度にあたり、新任分野長1名と新任分野員20名が新たに就任し、留任分野長・分野員37名の計58名により運営された。組織は6部門、13分野の構成であった。検査研究部門が開催した研修会は、合計21回開催され、参加人数は会員762名、非会員92名、学生1名で合計855名であった。前年度の研修会回数は25回であり、今年度は4回減、前年度比0.84倍と研修会数は減少した。前年度の参加者は1,075名であり、今年度は220名減少、前年度比0.80倍と研修会数、参加者ともに約20%減少した。平成26年5月に本県が担当して開催される第63回日本医学検査学会（新潟市）のため、各分野長が学術局企画部の委員に就任し、各分野において企画や準備、演題査読等が行われた。これが研修会減少の一因と思われるが、研修会の減少や研修会を開催できない分野があったことは会員サービスの低下が危惧される。次年度での改善が必須である。

生理検査部門の生体画像分野と生体機能分野、一般検査分野、血液検査分野、輸血・移植分野は実技実習を積極的に行い、研修レベルを初心者・中堅者別など、細部まで行き届いた形式を設定した。血液検査分野、輸血・移植分野の実習は2回目を開催するなど好評であった。実習形式の積極導入、積極的なアイデアなどが目立った活動年度であった。

検査研究部門の研修会

I. 生物化学分析部門

分野	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
臨床化学	平成25年 11月16日	専門 20	27	6	<ul style="list-style-type: none"> ・「鉄代謝とヘプシジン」 新潟県労働衛生医学協会 加藤 公則 先生 ・「R-CPC」 出題者：新潟大学医歯学総合病院 呼吸器内科 各務 博 先生 会場：新潟大学医学部 (日本臨床化学会甲信越支部新潟分科会との共催)
	平成26年 2月15日	専門 20	32	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「異常値検体の解析 –メタボ検査項目を中心に–」 積水メディカル株式会社 カスタマーサポートセンター分析グループ 小笠原康介 先生 ・遭遇した異常値の実例報告 「PSA 値に乖離がみられた検体について」 新潟県労働衛生医学協会 赤澤 道代 先生 「急性膵炎による強乳びが検査値に及ぼした影響」 新潟県立新発田病院 小野間健介 先生 「薬剤の影響により異常値が認められた症例」 新潟大学医歯学総合病院 高橋佳菜子 先生 会場：新潟大学医歯学総合病院 (生物試料分析科学会甲信越支部新潟分科会との共催)

免疫血清	平成25年 12月14日	専門 20	27	0	<p>・心筋マーカーと肺がんマーカーについて</p> <p>1) 心疾患における心筋マーカーの有用性</p> <p>2) 肺がんマーカーの有用性</p> <p>シスメックス株式会社北関東支店プロダクト営業課 岡田 啓司 先生 安部 幸也 先生</p> <p>・アミノインデックスについて</p> <p>味の素 (株) イノベーション研究所 フロンティア研究所アミノ酸機能研究グループ 菊池 信矢 先生</p> <p>会場：済生会新潟第二病院</p>
遺伝子	平成25年 11月9・ 10日	専門 30	34	12	<p>11月9日 (土) 講演会</p> <p>技術講演 1</p> <p>「次世代シーケンサーの基本原則と臨床応用」 ロシュ・ダイアグノスティックス (株) 高橋 邦明 先生</p> <p>教育講演</p> <p>「魔法の LAMP が変える病原診断」 北里大学 北里生命科学研究所 ウイルス感染制御学研究室 中山 哲夫先生</p> <p>技術講演</p> <p>「パイロシーケンス法の基礎と臨床応用の可能性について」 (株) キアゲン 嶋多 涼子 先生</p> <p>11月10日 (日) 実技講習</p> <p>「LAMP 法による <i>Mycoplasma pneumoniae</i> の検出」 栄研化学 (株) 酒井 栄一 先生</p> <p>「CycleavePCR 法による <i>Mycoplasma</i> の検出」 長岡赤十字病院病理診断部 高頭 秀吉 氏</p> <p>会場：新潟大学医学部 (日臨技北日本支部 生物化学分析部門と共催)</p>

Ⅱ. 生理機能検査部門

分野	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
生体機能 生体画像	平成25年 5月25日	専門 20	74	4	<p>【生理機能検査部門 初級者セミナー】</p> <p>「心電図検査～初級者編～」 新潟県立中央病院 宮崎 智美 技師</p> <p>「神経伝導検査～正しい記録のために～」 富永草野病院 鈴木 善雄 技師</p> <p>・教育講演「実践 安全な患者移動」 新潟県済生会三条病院 リハビリテーション科技師長 室井 和人 先生</p> <p>・特別講演「胸部単純写真で診ていること」 新潟大学医歯学総合病院 放射線部准教授 吉村 宣彦 先生</p> <p>会場：新潟大学医学部</p>
生体機能	平成25年 12月7日	専門 20	25	1	<p>【神経生理セミナー】</p> <p>・教育講演 「いまさら聞けない神経伝導検査」 厚生連長岡中央総合病院神経内科部長 大野 司 先生</p> <p>・プレクチャー 「糖尿病性神経障害の神経伝導検査」 富永草野病院 鈴木 善雄 先生</p> <p>・グループ実技講習 県立松代病院 柳沢 悦子 先生 新潟リハビリテーション病院 藤井 佳子 先生 富永草野病院 鈴木 善雄 先生 遠田 明子 先生</p> <p>会場：厚生連長岡中央総合病院</p>
生体画像	平成25年 8月31日 9月1日	専門 20	40	3	<p>【超音波実技セミナー】</p> <p>心臓超音波：基本断面の走査法，装置の設定，心機能計測法 など</p> <p>腹部超音波：基本断面の走査法，装置の設定など</p> <p>血管超音波：下肢静脈の標準的検査法</p> <p>会場：立川総合病院（8月31日） 新潟大学医歯学総合病院（9月1日）</p>
	平成26年 1月26日	専門 20	10	2	<p>【超音波検査士対策セミナー】</p> <p>・「特講 超音波の基礎」 日立アロカメディカル株式会社 武藤 和彦 先生</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院</p>

Ⅲ. 形態検査部門

分野	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
細胞	平成25年 11月16日	専門 20	47	21	講演 「尿細胞診のエビデンスに基づく評価づくりへの試みと病理学的意味づけ」 製鉄記念八幡病院 病理部顧問（臨床検査部長兼務） 金城 満 先生 助言者 新潟県立がんセンター新潟病院 病理部 本間 慶一 先生 同 川崎 隆 先生 会場：新潟大学医学部 （新潟県細胞検査士会と共催）
病理	平成25年 7月6日	専門 20	28	8	・「新潟県に於ける病理組織標本作製の標準化大作戦」 厚生連長岡中央病院 長谷川秀浩 技師 ・「改正女性則について（キシレン）」 （株）トルネックス・マーケティング室 水野 龍夫 先生 ・「消化管（食道）の切り出し方」 新潟大学第一病理 渡辺 玄 先生 会場：新潟大学医歯学総合病院 （新潟病理技術研究会と共催）

病理	平成26年 1月25日	専門 20	35	3	<p>会員発表</p> <p>「脱脂処理を組み込んだ密閉式自動固定包埋装置による検体処理の検討」 新潟県立中央病院 病理検査科 林 真也 技師</p> <p>話題提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スライドガラスの基礎知識」 松浪硝子工業株式会社 新道 弘規 先生 ・「マイクロトーム替刃の最新情報」 カイインダストリーズ株式会社 三浦 真 先生 ・「サクラファインテックジャパンの全自動連続薄切装置」 サクラファインテックジャパン 藤本 幸司 先生 <p>講義</p> <p>「病理における泌尿器癌の取り扱いについて」 新潟県立がんセンター新潟病院 病理部長 川崎 隆 先生</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院 (新潟病理技術研究会と共催)</p>
一般検査	平成25年 9月1日	専門 20	41	5	<p>【尿沈渣（初心者向け）研修会】</p> <p>尿沈渣鏡検 (血球類, 上皮細胞類, 円柱類, 紛らわしい成分等)</p> <p>* 午前, 午後の2回開催 会場：新潟医療技術専門学校</p>
	平成25年 12月7日	専門 20	54	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「尿中有形成成分分析装置 UF1000 i に関する一般演題」 新潟市民病院 中川 智 技師 新潟県労働衛生医学協会 新潟ウェルネス 齋藤 清美 技師 済生会新潟第二病院 千味 和宏 技師 ・「UF1000 i の新しいプログラムについて～細菌形態を中心に～」 シスメックス株式会社 学術部 学術一課二係 小林 秀行 先生 ・「血尿診断ガイドライン2013のポイントと検査部の対応」 金沢赤十字病院 検査部技師長 油野 友二 技師 <p>会場：新潟大学医歯学総合病院</p>

血液	平成25年 7月7日	専門 20	25	1	【第1回実技研修会】 末梢血における血液像観察のポイント説明および鏡検実習 (初心者を対象に正常細胞から幼若白血球の観察) 会場：新潟大学医学部保健学科
	平成25年 10月27日	専門 20	24	1	【第2回実技研修会】 第1回と同じ内容(追加開催) 会場：新潟医療技術専門学校
	平成25年 12月7日	専門 20	37	2	・平成25年度東臨技血液部門研修会 伝達講習 阿南建一先生講義「形態検査の秘策」 県立吉田病院 検査科 水野 祐子 技師 ・「血液疾患の診断法の進歩と治療への応用」 新潟薬科大学薬学部臨床薬学研究室臨床腫瘍学 青木 定夫 先生 会場：新潟大学医学部

IV. 感染制御部門

分野	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
微生物	平成25年 8月24日	専門 20	43	0	・演題発表「各施設におけるESBL産生菌の検出状況」 信楽園病院 田端 篤 技師 新潟県立新発田病院 高橋 一哲 技師 長岡赤十字病院 高野 美菜 技師 ・講演 「薬剤耐性菌検査－AmpC/ESBL鑑別ディスクとシカベータテスト－」 関東化学株式会社 試薬事業本部 試薬技術部 マイクロバイオ課 金子 孝昌 先生 ・スライドカンファレンス グラム染色標本症例検討 会場：長岡赤十字病院
公衆衛生	平成25年 12月7日	専門 20	26	10	「消毒薬の適正使用と感染対策」 吉田製薬株式会社 学術部 田ノ上 完 先生 「コロナウイルス感染症について－話題のMERS コロナウイルスを中心に－」 国立感染症研究所 ウイルス第三部第四室長 松山 州徳 先生 会場：コープシティ花園「ガレット」

V. 移植検査部門

分野	開催日	生涯教育 点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
輸血移植	平成25年 6月29日	専門 20	69	4 学生 1	・学会報告（学会参加者3名より報告） ・講演 「血液型検査の基礎と実際 ～日常遭遇する問題点の解決を中心に～」 （株）カイノス 佐々木正照 先生 会場：新潟大学医学部
	平成25年 7月21日	専門 20	44	2	【第1回 輸血検査実技講習会】 <基礎コース> 血液型，不規則抗体検査，クロスマッチを実施し，凝集の見方，試験管の振り方等，初歩的な技術・考え方の習得を目指します。新人や専門に輸血検査をやられていない初心者，初級レベルの方向け。 <認定および技能維持コース> 血液型，不規則抗体検査，抗体解離試験，クロスマッチ等を実施し総合的に輸血検査の理解を深めます。専門に輸血検査をやられている方や，ある程度の基礎技術を持っている中級者レベル以上の方向け。 会場：新潟医療技術専門学校
	平成25年 9月29日	専門 20	20	0	【第2回 輸血検査実技講習会】 第1回と同様にて臨時開催 会場：新潟大学医歯学総合病院

VI. 総合管理部門

研修会の開催なし

3. 精度管理事業

今年度も新潟県臨床検査技師会として第34回平成25年度新潟県臨床検査精度管理調査会を行った。この事業は新潟県から新潟県医師会への委託事業である。技師会としても積極的に当事業に協力し、集計、解析を含めた実務の中心的役割を果たすと共に、臨床検査の精度向上に努めた。

本事業を担当する精度管理委員会は全体会議と臨床化学担当の分科会を含め計3回開催し、実施計画及び配送準備、データ集計、解析を実施した。

本年度も感染症実施項目は微生物検査に技師会が担当する一般菌の1菌種について感受性を実施し、新潟県保健環境科学研究所が担当する2菌種の同定を合わせて実施した。臨床化学は昨年同様27項目で実施した。調査試料は今年度低濃度域に自家製人プール血清を用い、高濃度域には昨年同様市販管理試料を用いた。低濃度域のプール血清において、クレアチニンが低濃度となったことから暫定的に評価基準を2倍の目標値 $\pm 10\%$ とした。人プール血清では概ね反応性の問題は回避できたが、高濃度域は管理試料であるため、反応性の問題は避けて通れず、本年度もHDLコレステロール、LDLコレステロールはメーカー参考値を用いて評価した。なお、ドライケミストリー法についても評価を行った。昨年度、試料輸送において、試料の融解、また血液算定用試料の溶血などの問題もあったが、今年度は事前に輸送テストを3回行い、箱の大きさ、ドライアイスから試料までの距離、ドライアイスの量など様々な面から検討した。また冷蔵・冷凍の別送をする事とし結果、輸送において問題は特に発生しなかった。

集計作業の迅速化、誤登録防止を目的に昨年度同様に臨床化学のみではなく、微生物調査についても調査結果報告用ファイルをWebよりダウンロードする方法を実施した。

精度管理調査事業の内容（実施要項）は以下のとおりである。

1) 臨床化学

測定日：平成25年10月28日（月）より施設に配布し、到着次第速やかに実施。

調査項目：ブドウ糖、中性脂肪、総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、ナトリウム (Na)、カリウム (K)、クロール (CL)、カルシウム、尿素窒素、クレアチニン、尿酸、AST (GOT)、ALT (GPT)、アルカリフォスファターゼ (ALP)、 γ -GT (γ -GTP)、LD (LDH)、CK、アミラーゼ、コリンエステラーゼ (CHE)、HbA1cの21項目を評価対象として評価。

調査項目：総蛋白、アルブミン、血清鉄、C反応性蛋白 (CRP)、無機リン、総ビリルビン、Mgは測定のみとし評価は行わず。

サンプル：以下の4種類

(臨床化学用) 人プール血清サンプル1、人凍結管理試料2

(HbA1c用) MAP血サンプルA、B

(ドライケミストリー用) 人プール血清 DRY I、II

報告締め切り：平成25年11月5日（火）必着。

2) 微生物検査

検査日：平成25年11月14日（木）より参加施設が県内各地の一時保管場所に取りに行き速やかに実施。

検査項目：試料中の病原菌の同定（血清型別実施可能な施設は必要に応じて実施）

感受性検査

サンプル：同定検査A、B、Cの3種類。

感受性検査Cの1種類。

報告締め切り：平成25年11月29日（金）必着。

3) 血液検査

検査日：平成25年10月28日（月）より施設に配布し、到着次第速やかに実施。

検査項目：CBC5項目（ヘモグロビン、白血球数、血小板数、赤血球数、ヘマトクリット）

サンプル：市販管理血球Cの1種類。

報告締め切り：平成25年11月5日（火）必着。

集計概略は総参加施設数157施設、臨床化学施設136施設（内HbA1cは114施設）、微生物検査同定71施設、感受性検査55施設、血液検査135施設であった。

臨床化学検査については、データ集計後、平成26年1月28日（火）に施設別報告書を各施設に送付した。本年度も評価対象項目のすべてのサンプルにおいて評価を行い、ドライケミストリー法も独自の評価基準で評価したが、使用施設数が5未満の測定方法については評価対象外とし、「A」は許容限界内、「B」は許容限界の2倍以内、「C」は許容限界の2倍超とした。

今年度も精度管理の意識向上を目的に施設名を公表する事とした。最終集計結果については新潟県臨床精度管理協議会において検討し臨床検査精度管理調査検討会（報告会）で報告した。参加施設には県知事名の参加証が交付された。

平成19年度より、日臨技データ標準化事業が始まり、本年度も基幹施設（新潟大学医歯学総合病院、県立がんセンター新潟病院、厚生連刈羽郡総合病院、新潟県労働衛生医学協会）での活動が順調に進行した。日臨技精度保証施設認証制度は今年度申請した施設については新潟県精度保証施設認定委員会の審査を経て日臨技に提出した。

4. 生涯教育

各検査研究班・各支部担当者にご尽力いただき、行事登録および参加者登録を行ってもらった。一昨年度より開始された生涯教育推進研修会助成金制度については、13事業を申請し、関係者の皆様のおかげで希望全額の助成金を受け取ることができた。関係者の皆様には重ねて御礼申し上げたい。

【広報部】

新臨技会誌、新臨技ニュースおよび新臨技ホームページの運営を通じて全会員にリアルタイムに情報の提供が出来るよう心がけてきたが、会員の希望に沿うようなスピードに至らず、会員の皆様に迷惑を掛けてしまった。新臨技ニュースは、理事会議事要旨、研修会案内および求人情報など新臨技の新しい情報をいち早く会員施設へ提供できた。新臨技ホームページは、会員への情報発信手段として安定した運営であった。第63回日本医学検査学会のHPやフェイスブックにつながるバナー掲載は会員から好評であった。これに留まらず、レイアウトやリンクなどを工夫し会員への使いやすさを追求していきたい。

また、HPを利用した災害時支援メーリングリストに切り替え、安定したメーリングリスト構築に努めた

1) 新臨技会誌

〔講義〕の内容は部門長を通じてすべての分野から投稿していただくように広報活動に力を入れてきた。〔研修会報告〕は参加会員の協力により引き続き掲載し、情報提供や新人会員の研鑽の頁とした。親睦広報に関しては〔ペンリレー〕〔新入会員紹介〕〔検査技師として～私の思い出～奮闘記〕などの掲載で会員相互の親睦をはかり、だれでも参加できる企画にした。また公益活動の内容を紹介し、多くの会員に参加していただくため、〔公益活動報告〕を掲載した。また〔施設紹介〕では検査室を紹介し施設情報の共有を図った。年4回 季刊発行（287号から290号まで）

<平成25年度会誌掲載内容>

287号 平成25年4月1日

〔講義〕 睡眠時無呼吸症候群

～主に閉塞性睡眠時無呼吸症候群の基礎的事項について～……………高橋 真紀
骨髄標本における免疫染色の利用法……………谷 洋一

〔研究〕 輸血検査におけるパニック値の対応……………上村 正巳

〔研修会参加報告〕

生物化学分析部門・遺伝子分野研修会に参加して……………山田 佑輔
感染制御部門疫学・公衆衛生分野研修会に参加して……………広川 智香
超音波検査士対策セミナーに参加して……………藤原ゆうこ
輸血・移植検査部門研修会……………関 季代美
形態検査部門病理検査分野研修会に参加して……………森田 千穂
新潟病理技術研究会に参加して……………坂下 千明
第7回臨床検査セミナーに参加して……………田代 睦

〔ペンリレー〕……………寺島 健

〔検査技師として～私の奮闘記～〕……………吉原 典子
菅井 綾里
市野瀬 収

〔会 報〕 平成24年度第2回通常総会並びに25年度第1回通常総会議案書

2月常任理事会議事録
第4回理事会議事録
第7回臨床検査セミナー連絡責任者会議議事録
新入会員紹介
会員消息
技師会日誌

〔行事予定〕

288号 平成25年7月1日

〔あいさつ〕 会長就任あいさつ……………渡邊 博昭

〔講 義〕 パニック値の対応 ―臨床化学―……………伊藤 正行
血球数（CBC）および血液像におけるパニック値の対応……………梅田ひろ子

〔研 究〕 大腸癌の *Kras* 遺伝子検索における Tm 解析法と Direct sequence 法の併用……………林 真也

〔施設紹介〕 新潟大学医歯学総合病院……………山田真喜子

〔受賞者のことば〕

篠川至賞を受賞して……………長谷川利春
篠川至賞を受賞して……………木村 明
生涯教育新人賞を受賞して……………中川 友也
第63回日本医学検査学会シンボルマーク賞を受賞して……………清野真紀子
第63回日本医学検査学会テーマ賞を受賞して……………鈴木 英明

〔案 内〕 第89回新潟県臨床検査学会案内

〔認定技師精度紹介〕 超音波検査士認定試験を受検して……………高木 瑠美

〔研修会参加報告〕

輸血・移植分野実技講習会……………大倉 一晃
形態検査部門細胞分野・細胞診検査士会合同研修会参加報告……………山田 佑輔
第8回臨床検査セミナー……………佐藤 卓

〔ペンリレー〕……………関 元気

〔検査技師として～私の奮闘記～〕	大倉 一晃
	広沢 智美
	小池 史織
	泉友 里香

〔会報〕 平成24年度 第5回理事会議事録	
平成25年度 第1回理事会議事録	
平成25年度 第2回理事会議事録	
平成24年度 監査報告書	
平成25年度 第1回通常総会からアンケート回答	
会員消息	
新臨技会日誌	
行事予定	

289号 平成25年10月1日

〔講義〕 血液疾患の診断・治療と骨髄像	青木 定夫
〔案内〕 第89回新潟県臨床検査学会	
〔公益活動参加報告〕 パパの健康チェックに参加して	
〔研究〕 第89回新潟県臨床検査学会抄録	荒木 晴香
〔研修会参加報告〕	
形態部門一般検査分野研修会に参加して	中川 智
生理機能検査・初級者セミナーに参加して	笠原 綾夏
形態検査部門血液分野実技研修会に参加して	高橋 房子
輸血・移植検査分野研修会に参加して	高橋奈津子
輸血・移植分野実技講習会参加報告	谷口佳菜子
佐渡支部研修会に参加して	林 春紀
〔施設紹介〕 長岡中央総合病院	佐藤 雅哉
〔ペンリレー〕	湯本 正洋
〔検査技師として～私の奮闘記～〕	藤田 裕美
	鈴木 克弥
	中野 拓
	吉田 彩

〔会報〕 平成25年度第3回理事会議事録	
平成25年度7月常任理事会議事録	
新入会員紹介	
会員消息	
日臨技日誌	
行事予定	

290号 26年1月1日

〔あいさつ〕 新年のごあいさつ	渡辺 博昭
〔講義〕 QRS幅の広い心電図波形を考える	池主 雅臣

〔研修会参加報告〕

輸血・移植分野実技講習会参加報告	大矢 淳
感染制御部門微生物分野研修会に参加して	土田 純也
超音波実技セミナーに参加して	遠藤志穂美
新潟支部臨床化学研究班合同研修会に参加して	渡邊 愛深
第35回新潟病理技術研究会に参加して	諸橋 恵子
第89回新潟県臨床検査学会に参加して	阿部 真実
	三巻 実香
	佐藤 美里
一般検査分野実技研修会に参加して	宮路 渚

〔公益活動参加報告〕

ピンクリボンホリデー2013に参加して	齋藤 亜衣
第27回糖尿病を知るつどい～に参加して	酒井 俊希
すこやかともしびまつり～に参加して	渡邊 亮太
新潟市民健康福祉まつりに参加して	横山 和弘

〔認定制度紹介〕 認定不妊カウンセラー……………渡辺 友子

〔施設紹介〕 新潟県立中央病院……………高橋 政江

〔ペンリレー〕……………郷 裕昭

〔検査技師として～私の奮闘記～〕……………丸山 大節
土田 純也
風間 沙織

- 〔会 報〕 平成25年度 第4回理事会議事録
平成25年度 第5回理事会議事録
平成25年度 10月常任理事会議事録
新入会員紹介
会員消息
技師会日誌

〔行事予定〕

2) 新臨技ニュース

理事会議事要旨の掲載を中心に、組織活動、研修会案内、求人情報など速報性のある内容を順次掲載してきた。また掲載情報の正確性・即時性を重要視し、可能な範囲で早く各施設に届くように努めてきた。発行は理事会終了後の月1回とした。今年度は写真を多く掲載し見やすさをより追求した。

3) 新臨技ホームページ

新臨技ホームページは案内・各支部活動・各研究班活動の内容がリアルタイムに閲覧でき好評である。事務局との連携を密にしたことにより会員への情報提供がより迅速となった。特に、学術研究会や支部研修会の予定を掲載することにより県内会員への情報の共有化に努めた。また、北日本支部学会、第63回日本医学検査学会をリンクするなど、利便性を追求し、会員により多くの情報を届ける様に努めてきた。今年、災害時支援対策メーリングリストもホームページと連動させ、より登録しやすいものとした。

【主要行動報告】

1. 参議院候補米坂知昭氏訪問に松田会長同行（4月1日）
2. 新潟県民医療推進協議会設立準備委員会に松田会長出席（4月3日）
3. 新潟医療技術専門学校卒業式に松田会長出席（4月5日）
4. 表彰委員会へ吉原副会長，小柳事務局長出席（4月5日）
5. 北里大学保健衛生専門学院入学式へ坂西理事出席（4月10日）
6. 日臨技執行理事会議に坂西理事出席（4月12日）
7. 新潟県民医療推進協議会設立総会へ松田会長，堀川副会長出席（4月13日）
8. 篠川至賞選考委員会へ松田会長，吉原副会長，渡辺副会長，堀川副会長出席（4月13日）
9. 県技師会監査へ松田会長，小柳事務局長，安達理事同席（4月18日）
10. 全国ワーキンググループ，学術部会議開催（4月20日）
11. 総会準備に小柳事務局長，田沢理事，佐藤（卓）理事（4月25日）
12. 平成25年度第1回通常総会及び第1回理事会開催（4月27日）
13. 第2回理事会（5月11日）
14. 新潟はびいー乳ライフ実行委員会へ田澤理事出席（5月16日）
15. 第62回日本医学検査学会視察（5月17～19日）
16. 日臨技執行理事会議・理事会に坂西副会長出席（5月17日）
17. 日臨技出版委員会・支部長連絡会議に坂西副会長出席（5月18日）
18. 日臨技総会へ坂西副会長出席（5月25日）
19. 平成25年度第1回新潟県栄養・食生活学会役員会へ吉原副会長出席（5月27日）
20. 関連団体への挨拶に渡辺会長，坂西副会長，桑原副会長，小柳事務局長訪問（5月27日）
21. 日臨技運営部に渡辺会長，山崎実行委員長，加藤学会事務局長出席（6月8日）
22. 日臨技執行理事会議・学会組織委員会・第63回運営部会・第64回運営部会に坂西副会長出席（6月8日）
23. 第3回理事会（6月15日）
24. 全国学会（JTBC）の打合せに加藤学会事務局長，小柳事務局長同席（6月18日）
25. 細胞検査士会新潟支部定期総会に渡邊会長出席（6月22日）
26. 新潟県健康づくり財団評議員会へ松田監事出席（6月25日）
27. 第63回日本病院学会へ渡邊会長出席（6月26日）
28. 北日本支部幹事会（北海道）へ渡邊会長出席（6月28日）
29. 全国学会WG開催（7月6日）
30. 7月常任理事会（7月6日）
31. 全国学会の展示会社（東京）へ協力依頼に渡邊会長，山崎実行委員長挨拶まわり（7月8日）
32. 全国学会の展示会社（東京）へ協力依頼に山崎実行委員長挨拶まわり（7月9日）
33. 平成25年度日臨技北日本支部生理機能検査部門研修会（新潟）へ渡邊会長出席（7月13日）
34. 日臨技執行理事会議・第1回学術企画委員会・第2回出版委員会へ坂西副会長出席（7月13日）
35. 新潟県糖尿病検診研究会理事会・運営委員会合同会議へ坂西副会長出席（7月24日）
36. 精度管理委員会開催（7月24日）
37. 第1回臨床検査精度管理協議会へ坂西副会長出席（7月26日）
38. 日臨技理事会・学術委員会に坂西副会長出席（7月27日）
39. 第1回新潟県・新潟市合同精度管理専門委員会へ坂西副会長出席（7月30日）
40. 第3回日臨技-JSLM 合同未来構想検討委員会（松本）へ坂西副会長出席（8月3日）
41. 日臨技執行理事会議へ坂西副会長出席（8月10日）

42. 東北臨床検査技師会第1回代表者会議（仙台）へ渡邊会長，吉原副会長出席（8月17日）
43. 新潟県民医療推進協議会委員会設置に関する意見交換会へ桑原副会長出席（8月29日）
44. 全国学会の展示会社（東京）へ協力依頼に山崎実行委員長挨拶まわり（8月29日）
45. 全国学会の展示会社（東京）へ協力依頼に渡邊会長，山崎実行委員長挨拶まわり（8月30日）
46. 新潟県へ一般社団法人移行認可申請書を提出（9月4日）
47. 新潟県生活習慣病検診等管理指導協議会・循環器等検診部会へ渡邊会長出席（9月6日）
48. 第70回新潟県医師会定期総会へ渡邊会長出席（9月7日）
49. 日臨技執行理事会議・第2回学術企画委員会へ坂西副会長出席（9月7日）
50. 第87回新潟県臨床検査センター協議会へ渡邊会長出席（9月14日）
51. 第9回全国学会WG開催（9月14日）
52. 第4回理事会（9月21日）
53. 日臨技出版委員会・支部長会議・情勢報告会・医学検査総合入札審議に坂西副会長出席（9月27日）
54. 全国学会学会場へ加藤学会事務局長，小柳事務局長挨拶まわり（9月29日）
55. 日臨技出版委員会・医学検査総合入札プレゼンに坂西副会長出席（10月7日）
56. 北日本支部支部内連絡会議幹事会へ渡邊会長，桑原副会長，坂西執行理事出席（10月11日）
57. 日臨技第2回北日本支部学会開催（10月12～13日）
58. 第13回新潟医療福祉学会に渡邊会長出席（10月19日）
59. ピンクリボンホリデーに参画（10月20日）
60. 日臨技執行理事会議に坂西副会長出席（10月25日）
61. 第10回全国WG開催（10月26日）
62. 10月常任理事会（10月26日）
63. 新潟県精度管理調査試料発送作業（10月27日）
64. 新潟県・新潟市合同精度管理専門委員会 衛生検査所立入調査に坂西副会長出務（10月31日）
65. 第89回新潟県臨床検査学会準備に佐藤理事，田澤理事，小柳事務局長出務（11月1日）
66. 第89回新潟県臨床検査学会開催（11月4日）
67. 第5回理事会（11月4日）
68. 日臨技執行理事会議に坂西副会長出席（11月16日）
69. 形態検査部門・細胞検査士会合同研修会に渡邊会長出席（11月16日）
70. 日臨技先駆的臨床検査技師遺伝子研修会に坂西副会長役員出席（11月22～24日）
71. 新潟県糖尿病検診研究会総会に坂西副会長出席（11月28日）
72. 日臨技支部長連絡会議・出版委員会に坂西副会長出席（11月29日）
73. 日臨技理事会・学術委員会に坂西副会長出席（11月30日）
74. 検査説明相談ができる臨床検査技師育成企画担当者講習会に桑原副会長参加（12月6日～8日）
75. 新潟県精度管理委員会 サーベイ値付け作業 斎藤理事・小林理事参加（12月10日）
76. 日臨技・日本輸血細胞治療学会協同事業協議会準備委員会に坂西副会長出席（12月13日）
77. 日臨技運営部会に渡邊会長，山崎実行委員長，加藤学会事務局長出席（12月14日）
78. 日臨技執行理事会議・学会組織委員会・第63回運営部会に坂西副会長出席（12月14日）
79. 日臨技平成26年度事業（案）会長・担当執行理事ヒアリングに坂西副会長出席（12月21日）
80. 第11回全国ワーキンググループ開催（12月21日）
81. 第6回理事会（12月21日）
82. 第1回平成26年度日臨技事業計画執行理事ヒアリングに坂西副会長出席（12月21日）
83. 第2回平成26年度非臨技事業計画執行理事ヒアリングに坂西副会長出席（1月10日）

84. 日臨技執行理事会議に坂西副会長出席（1月11日）
85. 関連団体挨拶まわりへ渡邊会長，吉原副会長，坂西副会長，桑原副会長，山崎学会実行委員長，加藤学会事務局長，小柳事務局長出務（1月17日）
86. 日臨技平成26年度予算委員会に坂西副会長出席（1月18日）
87. 第12回全国 WG（1月18日）
88. 第7回理事会（1月18日）
89. 平成25年度第2回臨床検査精度管理協議会に坂西副会長，齊藤理事出席（1月21日）
90. 日臨技 e-ラーニング検討の為 NTT 本社に訪問並びに出版委員会に坂西副会長出席（1月24日）
91. 第2回北日本支部連絡会議並びに平成25年度日臨技情勢報告・全国幹事会（東京都）へ渡邊会長・坂西副会長出席（1月24～25日）
92. 日臨技理事会並びに第2回予算委員会に坂西副会長出席（1月25日）
93. 平成25年度第2回新潟県・新潟市合同精度管理委員会に坂西副会長出席（1月28日）
94. 日臨技第63回運営部会並びに展示説明会に渡邊会長，山崎実行委員長，加藤学会事務局長，坂西副会長出席（2月7日）
95. 第64回運営部会に坂西副会長出席（2月7日）
96. 日臨技執行理事会議並びに学術企画委員会並びに第3回日臨技・日本輸血細胞治療学会「共同事業協議会」準備小委員会に坂西副会長出席（2月8日）
97. 第13回全国 WG（2月8日）
98. 2月常任理事会（2月8日）
99. 日臨技執行理事会議・学術企画委員会に坂西副会長出席（2月8日）
100. 新潟支部総会に桑原副会長出席（2月15日）
101. 平成25年東北臨床検査技師会第2回代表者会議に吉原副会長，桑原副会長出席（2月21日）
102. 中越支部総会に吉原副会長出席（2月22日）
103. 上越支部総会に坂西副会長出席（2月22日）
104. 下越支部総会に渡邊会長出席（3月1日）
105. 第14回全国 WG（3月8日）
106. 第8回理事会（3月8日）
107. 日臨技執行理事会議に坂西副会長出席（3月8日）
108. 平成25年度臨床検査精度管理調査検討会合同研修会に坂西副会長，斎藤理事，小林理事出席（3月11日）
109. 新潟医療技術専門学校卒業式に渡邊会長出席（3月14日）
110. 新潟県臨床検査センター協議会へ渡邊会長出席（3月15日）
111. 日臨技・日輸細共同事業 輸血テクニカルセミナー2013に日臨技共同事業協議会委員として坂西副会長出席（3月15～16日）
112. 北里大学保健衛生専門学院卒業式へ坂西副会長出席（3月19日）
113. 第6回新潟県救急搬送・受入協議会へ松永理事出席（3月24日）
114. 公益財団法人新潟県健康づくり財団第8回臨時評議員会へ渡邊会長出席（3月25日）
115. 司法書士事務所へ認可書提出・登記申請依頼（3月26日）
116. 日臨技理事会・学術企画委員会・学術委員会・日臨技マガジン特集記事収録・診療報酬改訂に関する説明会に坂西副会長出席（3月29日）

平成25年度収支決算報告

平成25年度収支決算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

収入の部

大科目	中科目	小科目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
会費収入			8,152,500	8,294,500	△ 142,000	
	正会員会費		6,792,500	7,034,500	△ 242,000	1,279名
	賛助会員会費		1,360,000	1,260,000	100,000	63社
事業収入			4,700,000	3,549,678	1,150,322	
	参加費収入		1,500,000	1,214,000	286,000	県学会, セミナー, 研究部門
	会誌広告収入		1,000,000	1,070,000	△ 70,000	会誌, 名簿広告料
	助成金収入		2,200,000	1,265,678	934,322	日臨技, 県医師会
雑収入			1,005,000	1,019,597	△ 14,597	
	預金利息収入		5,000	252,146	△ 247,146	定期利子税返金
	雑収入		1,000,000	767,451	232,549	研究部門協力金, 学会協力金
当期収入合計	A		13,857,500	12,863,775	993,725	
前期繰越収支差額			1,000,000	2,467,196	△ 1,467,196	
収入合計	B		14,857,500	15,330,971	△ 473,471	

支出の部

大科目	中科目	小科目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
事業費			9,800,000	8,158,532	1,641,468	
	学術研究費		3,850,000	3,467,570	382,430	
		学 会 費	1,000,000	1,068,683	△ 68,683	第89回県学会
		学術部活動費	2,000,000	1,663,548	336,452	検査研究部門活動費
		精度保障事業費	400,000	288,745	111,255	新潟県精度管理事業
		負 担 金	350,000	348,325	1,675	東北技師会負担金
		雑 費	100,000	98,269	1,731	源泉徴収税
	総会費		1,250,000	474,838	775,162	
		準 備 費	250,000	260,970	△ 10,970	賞状、筒
		運 営 費	1,000,000	213,868	786,132	セミナー費用、会場費
	広報費		3,500,000	3,192,003	307,997	
		会誌発行費	2,500,000	2,528,441	△ 28,441	会誌発行4号、会員名簿
		広報編集費	1,000,000	663,562	336,438	編集委員会
	組織強化費		1,200,000	1,024,121	175,879	
		支部強化費	600,000	501,836	98,164	各支部助成金
		組織広報費	400,000	471,673	△ 71,673	公益事業活動
		災害対策費	200,000	50,612	149,388	災害用備品
管理費			4,960,000	4,591,178	368,822	
	事務費		2,450,000	2,213,854	236,146	
		備 品 費	200,000	6,980	193,020	シュレッダー
		消 耗 品 費	100,000	114,008	△ 14,008	文房具等
		印 刷 費	350,000	480,719	△ 130,719	封筒、コピー代
		通 信 費	500,000	457,082	42,918	案内発送
		交 通 費	350,000	247,740	102,260	日臨技、東北会議
		渉外対策費	300,000	156,645	143,355	関連団体、支部対策費
		報 酬 費	650,000	750,680	△ 100,680	事務職員報酬等
	会議費	旅 費	600,000	1,015,340	△ 415,340	理事会等旅費
	事務所費		1,730,000	1,332,834	397,166	
		維持管理費	1,600,000	1,231,207	368,793	賃貸料、電気代
		電 話 費	100,000	96,924	3,076	電話、電報
		事務所雑費	30,000	4,703	25,297	事務所備品
	雑費		180,000	29,150	150,850	
		交 際 費	150,000	29,150	120,850	関連団体慶弔費
		雑 費	30,000	0	30,000	
特定預金支出			0	2,001,023	△ 2,001,023	
	会館建設引当預金支出		0	1,023	△ 1,023	会館引当金利息
	学会引当預金支出		0	2,000,000	△ 2,000,000	第63回医学検査学会引当金
予備費			97,500	0	97,500	
当期支出合計	C		14,857,500	14,750,733	106,767	
当期収支差額	A - C		△ 1,000,000	△ 1,886,958	886,958	
次期繰越収支差額	B - C		0	580,238	△ 580,238	

総合財産目録

平成26年3月31日現在

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	271,083		
普通預金			
第四銀行臨港支店	224,535		
ゆうちょ銀行	84,620		
流動資産合計		580,238	
2. 固定資産			
会館建設引当預金			
第四銀行臨港支店（定期）	10,000,000		
北越銀行県庁支店（定期）	4,097,179		
ゆうちょ銀行（定額5口）	5,268,000		
篠川至賞引当預金			
ゆうちょ銀行（定額3口）	6,101,000		
共済基金			
ゆうちょ銀行（定額3口）	1,724,000		
固定資産合計		27,190,179	
資産合計			27,770,417
II. 負債の部			
1. 流動負債		0	
2. 固定負債		0	
負債合計			0
正味財産			27,770,417

1. 正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

科 目	金 額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額			
会館建設引当預金	1,023		
当期収支差額			
資産増加額合計		1,023	
2. 負債減少額		0	
増加額合計			1,023
II. 減少の部			
1. 資産減少額			
当期収支差額	1,886,958		
2. 負債増加額		0	
減少額合計			1,886,958
当期正味財産増加額			△ 1,885,935
前期繰越正味財産額			29,656,352
期末正味財産合計額			27,770,417

2. 貸借対照表 平成26年 3月31日現在

科 目	金 額	
I, 資産の部		
1, 流動資産		
現金預金	580,238	
流動資産合計		580,238
2, 固定資産		
会館建設引当預金	19,365,179	
篠川至賞引当預金	6,101,000	
共済基金	1,724,000	
固定資産合計		27,190,179
資産合計		27,770,417
II, 負債の部		
1, 流動負債		0
2, 固定負債		0
負債合計		0
III, 正味財産の部		
正味財産		27,770,417
(うち当期正味財産増加額)		(△ 1,885,935)
負債及び正味財産合計		27,770,417

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

- ① 資産の評価基準及び評価方法について
 - ・ 棚卸資産は、最終仕入原価法による原価法。
 - ・ 投資有価証券は、異動平均法による原価法。
- ② 固定資産の減価償却について
 - ・ 有形固定資産の減価償却は定率法により行う。
- ③ 引当金の計上基準について
 - ・ 貸倒引当金、賞与引当金は、法人税法の規定に基づく繰入限度相当額を計上する。
 - ・ 退職給与引当金は、役員及び職員の退職金支給に備え、退職金期末要支給額を計上する。
- ④ 資金の範囲について
 - ・ 資金の範囲には、現金預金、未収金、未収会費、仮払金、未払金、仮受金を含めている。
 なお、前期末及び当期末残高は下記4のとおりである。

- 2 基本財産は所有していない。
- 3 有形固定資産は所有していない。
- 4 未収金等及び未払金等は発生していない。
- 5 担保に供している資産並びに支払を保証している債務はない。
- 6 表示の金額は、円単位で表示している。

一般社団法人移行にともなう財産の取り扱いについて

これまで公益目的事業、その他事業を区別することなく、それぞれの成果を他の財源へ充てる事ができましたが、公益法人時の財産は公益目的事業以外では使用できなくなりました。

1. 公益目的事業（継続）について

1) 検査学会研修事業

(1) 新潟県臨床検査学会事業 (2) 臨床検査セミナー事業 (3) 検査研究部門研修事業

2) 臨床検査精度保証事業

(1) 新潟県臨床検査精度管理調査事業 (2) 精度保証施設認証制度事業

3) 広報事業

(1) 会誌発行事業 (2) 組織広報事業

上記、3事業が公益事業として認められました。

2. 公益目的支出計画について

正味財産は、公益目的財産となります。移行申請時に公益目的の為に支出してゼロにするための公益目的支出計画を立てました。年間約500万円を公益目的事業に充て、今後7年かけて支出することを計画しています。

公益目的財産額（平成25年3月31日）	29,656,352円
公益目的支出の見込額（平均の額）	8,600,000円
実施事業収入の見込額（平均の額）	3,700,000円
(5の額)－(6の額)	4,900,000円
公益目的財産残額が零となる予定の事業年度の末日	平成32年3月31日
公益目的支出計画の実施期間	7年間

3. 今後の会計方針について

- ・科目は学術研究費を検査学会研修費、精度保証事業費を臨床検査精度保証費とし、会館建設引当預金科目を削除することとします。
- ・移行時（平成26年4月1日）の正味財産は、総て公益目的支出財産となります。
- ・次年度繰越金が発生した場合は、優先的に新たな篠川至賞引当預金、共済引当預金に充てたい。

【上越支部】

〈支部研修会〉

- 1) 秋季研修会：第101回上越支部研修会（生涯教育 基礎：20点）

日 時 平成25年10月20日（日）
会 場 上越市市民プラザ
講 演 市民公開講座『救命蘇生法と AED の使用法』
講師：上越南消防署 救急隊員

- 2) 春季研修会：第102回上越支部研修会・総会（生涯 教育基礎：30点 専門：20点）

日 時 平成26年2月22日（土）13：30～（総会：16：00～）
会 場 高陽荘
講 演 講演1「慢性腎臓病（CKD）について」
講師：ニッターボーメディカル（株） 学術部
脇 雅宏 先生
講演2「輸血検査の基礎～ABO 式血液型を中心に～」
講師：バイオ・ラッド・ラボラトリーズ株式会社
カスタマーサポート部シニア IH 学術スペシャリスト
小黒 博之 先生

- 3) 検体検査研究班（臨床化学部門・微生物部門）（生涯教育 専門：20点）

日 時 平成25年7月31日（水）
会 場 厚生連上越総合病院 講堂
講 演 「薬剤耐性菌検査の進め方」
講師：関東化学株式会社 試薬事業部 試薬技術部 マイクロバイオ課
金子 孝昌 先生

- 4) 形態検査研究班（血液・血清部門，病理部門，一般検査部門）（生涯教育 専門：20点）

日 時 平成25年10月23日（水）
会 場 厚生連上越総合病院 講堂
講 演 「ギムザ染色で何故細胞は染め分けられるか／ギムザ染色のメカニズムと染色のポイント」
講師：サクラファインテックジャパン株式会社
渡辺 明朗 先生

- 5) 生理検査研究班（生理検査部門）（生涯教育 専門：20点）

日 時 平成26年2月14日（金）
会 場 上越総合病院 講堂
講 演 「ペースメーカー心電図」—基本波形とトラブル波形—
講師：日本光電工業株式会社 臨床工学士
河村 能昌 先生

- 6) 地域保健活動（後援団体として）

- ①第35回 上越循環器談話会

日 時 平成25年11月8日（金）
会 場 ホテルハイマート

- ②第46回 上越糖尿病内分泌研究会

日 時 平成25年11月22日（金）
会 場 上越医師会館

〈支部理事会〉

2013年（平成25年）

- 4月25日（木） 定例理事会
- 5月23日（木） 拡大理事会（研究班班長含む）
- 6月19日（水） 定例理事会
- 7月25日（木） 定例理事会
- 8月29日（木） 定例理事会
- 9月27日（金） 定例理事会
- 10月17日（木） 定例理事会
- 11月26日（火） 定例理事会
- 12月12日（木） 定例理事会

2014年（平成26年）

- 1月16日（木） 拡大理事会（研究班班長含む）
 - 2月6日（木） 定例理事会
 - 2月22日（土） 定例理事会
- * 計12回理事会を開催

【中越支部】

- 1) 平成25年度中越支部講演会（生涯教育認定 基礎20 参加48名）

平成25年2月16日（土）14：00～16：15 立川綜合病院多目的施設きぼう3F 講堂

講演1 「臨床検査技師賠償責任保険について」

講師 東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部 第1法人部 第1法人課
赤木 克之 先生

株式会社メディクプランニング 久保田雅博 先生

講演2 「お酒の話～朝日酒造の取り組み～」

講師 朝日酒造株式会社 安澤 義彦 先生

- 2) 平成25年度中越支部通常総会（生涯教育 基礎30 参加31名）

平成25年2月16日（土）16：30～17：30 立川メディカルセンター多目的施設きぼう3F 講堂

議長 朝妻 義徳 技師（長岡赤十字病院）

議事 ①平成24年度事業・決算・監査報告

②平成25年度事業計画・予算案提案

以上の議案について審議され、原案通り承認された。

- 3) パパの健康チェック（生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師16名）

平成25年6月9日（日）11：00～15：30 リバーサイド千秋

主催：ヘルシープラン21実行委員会・長岡市福祉保健部健康課

会場来場者に血糖測定及びCO測定……130名

- 4) 中越支部フォーラム（生涯教育 基礎20 参加17名）

平成25年7月20日（土）14：00～16：30 立川メディカルセンター多目的施設きぼう3F 講堂

メインテーマ “臨床検査を取り巻く環境”

セミナーテーマ “プロモーションコードとは”

講演Ⅰ 『プロモーションコードとは（基礎編）』

講師 ノバルティスホールディングジャパン株式会社 三村まりこ 先生

講演Ⅱ 『プロモーションコードとは（応用編）』

講師 ノバルティスホールディングジャパン株式会社 三村まりこ 先生

5) “すこやかともしびまつり 2013” (生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師24名)

平成25年9月28日(土)・29日(日) アオーレ長岡 一般市民来場者 15,000名

主催：長岡市

肺年齢測定……ブース体験者550名

6) 糖尿病を知るつどい (生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師9名)

平成25年11月2日(土) 12:30~16:30 長岡リリックホール

主催：長岡市医師会

来場者の血糖値測定……195名

7) ふれあい研修会 (生涯教育認定 基礎20 参加36名)

平成25年11月23日(土) 13:00~16:40 立川総合病院多目的施設きぼう3F 講堂

講演 「論文作成・学会発表はじめの一步」

講師 新潟勤労者医療協会 下越病院 高橋 真帆

北里大学保健衛生専門学院 臨床検査技師養成科 鈴木 英明

北里大学保健衛生専門学院 臨床検査技師養成科 小林 浩二

シーメンズヘルスケア・ダイアグノスティックス株式会社

CAI事業部 疾患マネジメントグループ 浅野 寛道 先生

*学術支援事業 平成25年度は、本事業を活用した研修会は行われませんでした。

《平成25年度会議録》

第1回理事会 平成25年4月4日(木) 18:30~ 立川総合病院会議室

議題：理事担当職務, 担当病院, 連絡網の確認

年間事業, 役割決定・支部フォーラムについて

「父の日企画」について, 他

第2回理事会 平成25年5月23日(木) 18:30~ 立川総合病院会議室

議題：支部フォーラム日程, 内容, 担当, 役割分担について

「父の日企画」について, 他

第3回理事会 平成25年6月27日(木) 18:30~ 立川総合病院会議室

議題：支部フォーラム, ふれあい研修会・支部研究会について

すこやかともしびまつり2013・糖尿病をしるつどいについて, 他

第4回理事会 平成25年9月12日(木) 18:30~ 立川総合病院会議室

議題：ふれあい研修会・支部研究会について

すこやかともしびまつり2013・糖尿病をしるつどいについて, 他

第5回理事会 平成25年10月24日(木) 18:30~ 立川総合病院会議室

議題：すこやかともしびまつり2013について

ふれあい研修会・支部研究会について

平成26年度中越支部総会，中越支部講演会について，他

第6回理事会 平成26年1月11日（土）14：30～ 立川総合病院講義室
議題：平成26年度中越支部総会，中越支部講演会について
篠川至賞選出について，他

第7回理事会 平成26年2月6日（木）18：30～ 立川総合病院会議室
議題：平成26年度中越支部総会，中越支部講演会について
篠川至賞選出について，他

【下越支部】

〈研修会等〉

第1回支部研修会

日 時：平成25年7月20日（土）14：00～16：30

場 所：下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内 容：「今さら聞けないデータの見方パート2」

①一般検査部門 講師 長岡赤十字病院 片桐 智美 技師

②細菌検査部門 講師 新潟大学医歯学総合病院 高野 操 技師

③輸血検査部門 講師 南部郷総合病院 永井 聡子 技師

参加者：55名（会員48名，非会員7名）

第2回支部研修会

日 時：平成25年12月14日（土）14：00～16：30

場 所：下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内 容：「医療情報と検査システムの今後」

講師 株式会社エイアンドティー 営業類部営業サポートユニット 営業推進グループ

黒崎 大輔 先生

「マイコプラズマ感染症について」

講師 アルフレッサファーマ株式会社 学術情報部診断薬情報室長

足立 浩 先生

参加者：22名（会員14名，非会員8名）

第3回支部研修会および総会

日 時：平成26年3月1日（土）14：00～17：00

場 所：下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内 容：「医療安全について」～総論と新発田病院の現状～

講師 県立新発田病院検査科 落合 広美 副技師長

平山智香子 技師

「平成26年度保険点数改定について」

講師 株式会社SRL 首都圏第二営業部 新潟営業所 石井 裕治 先生

参加者：36名（会員27名，非会員9名）

〈下越支部理事会〉

今年度は、支部研修会打合せ等で7回開催した。

第1回：4月12日

第2回：6月6日

第3回：9月12日

第4回：10月3日

第5回：11月28日

第6回：1月16日

第7回：3月1日

【佐渡支部】

〈活動内容〉

1) 研修会（専門-20）

日時 平成25年5月30日（木） 18：30～（受付18：00～）

会場 佐渡総合病院 講堂

内容 「血球計数検査を見直そう！ —おさえてますか？ データチェックポイント—」

講師 シスメックス株式会社 北関東支店プロダクト課 萩原 明子 先生

座長 佐渡総合病院 笠井恵美子

2) 糖尿病を知る集いに支部として協力（支部会員5名参加）

日時 平成25年6月9日（日） 8：45～

内容 血糖測定、参加者とウォークラリー等

3) 研修会（専門-20）

日時 平成25年7月20日（土） 14：00～（受付13：30～）

会場 ファミリーオ相川

内容 1. 「どのようにして甲状腺疾患は診断されるか？ In vitro 検査を中心に」

講師 アボットジャパン株式会社 セールスエクセレンス部 学術情報室長 青木 和雄 先生

座長 佐渡総合病院 笠井恵美子

2. 「循環器バイオマーカーの有用性」

講師 アボットジャパン株式会社 セールスエクセレンス部 学術情報室長 青木 和雄 先生

座長 佐渡総合病院 中川友也

4) 糖尿病を知る集いに支部として協力（支部会員4名参加）

日時 平成25年11月16日（土） 13：00～

内容 血糖測定、パンフレット配布等

5) 研修会（専門-20）

日時 平成25年11月23日（土） 14：00～（受付13：45～）

会場 佐渡総合病院 講堂

内容 1. 講演「生理検査ではこんなことをしています ～いろいろな症例を経験して～」

講師 新潟県済生会三条病院検査科 桑原喜久男 先生

座長 佐渡総合病院 中川 友也

2. 一般演題

①日当直技師対象輸血検査トレーニングの実際と効果

佐渡総合病院 飯野季代子

②緊急・大量輸血における検査科の対応と支援体制について

佐渡総合病院 笠井恵美子

③当院における、過去3年間のインフルエンザの動向

両津市民病院 山本 陽子

④虫垂炎の症例

佐渡総合病院 中川 友也

⑤皮膚にできた MALT リンパ腫の1症例

佐渡総合病院 中川 友也

⑥静脈血カリウム (K) 値の偽高値の出現機序とその回避策について

佐渡総合病院 林 春紀

座長 ①～③佐渡総合病院 中川 友也

④～⑥佐渡総合病院 笠井恵美子

6) 支部総会 13:30～(受付13:00～)

日時 平成25年3月8日(土)

会場 浦島

内容 1. 平成25年度佐渡支部総会(基礎-30)

2. 学術講演(専門-20)

「特定健診項目の標準化と今後の展開 ～第1期特定健診結果と第2期開始～」

講師 積水メディカル株式会社 カスタマーサポートセンター 学術グループ 市原 文雄 先生

「地域ぐるみで取り組む生活習慣病予防 ～健康診査で早期発見 適正受診で重症化予防～」

講師 佐渡市 市民生活課 健康推進室 石井 恭子 先生

座長 佐渡総合病院 斎藤 桂子

〈佐渡支部役員会〉

第1回 4/16(火) 露庵

第2回 7/20(土) ファミリーオ相川

第3回 10/3(木) 佐渡総合病院

第4回 1/29(水) 佐渡総合病院

計4回開催

【新潟支部】

1) 【平成24年度新潟支部研修会】2013.02.23

参加人数: 86人(会員59人, 学生0人, 非会員27人)

演題: 患者からの暴言・暴力についてどの様に対応するか

樋口 正昭 樋口正昭法律事務所

心電図の基礎

齋藤 修 JA 新潟厚生連新潟医療センター

2) 【平成25年度新潟支部通常総会】2013.02.23

参加人数: 35人(会員35人, 学生0人, 非会員0人)

3) 【第34回新潟支部一般検査研修会】2013.03.02

参加人数: 33人(会員31人, 学生0人, 非会員2人)

演題: スライドカンファレンス

- 白川千恵子 新潟医療技術専門学校
髄液検査の実際
小林 直之 医療法人泰庸会 新潟脳外科病院
髄液検査, ここがポイント!
西江 良介 済生会新潟第二病院
- 4) 【第35回一般検査研究会】 2013.07.04
参加人数: 43人 (会員34人, 学生0人, 非会員9人)
演題: スライドカンファレンス
白川千恵子 新潟医療技術専門学校
全国学会参加報告
小林 路子 新潟大学医歯学総合病院 診療支援部臨床検査室
尿試験紙 基礎から微量アルブミン・クレアチニンまで
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
- 5) 【第35回新潟病理技術研究会】 2013.07.06
参加人数: 36人 (会員28人, 学生0人, 非会員8人)
演題: 新潟県に於ける病理組織標本作製の標準化大作戦
長谷川秀浩 新潟県厚生連長岡中央総合病院病理部
改正女性則について (キシレン)
水野 龍夫 (株) トルネックス・マーケティング室
消化管 (食道) の切り出し方
渡辺 玄 新潟大学第1病理学教室
- 6) 【平成25年度新潟支部研修会・第1回新潟支部臨床化学研究班 合同研修会】 2013.09.28
参加人数: 30人 (会員29人, 学生0人, 非会員1人)
演題: 講演 職場に活かす心の病「予防と対応」
百都 礼子 産業カウンセラー, 看護師
血液ガス分析の基礎から症例まで
三沢 泰一 ラジオメーター株式会社
- 7) 【第15回新潟市民健康福祉まつり】 2013.10.20
参加人数: 15人 (会員15人, 学生0人, 非会員0人)
- 8) 【第57回新潟支部血液研究会】 2013.11.14
参加人数: 25人 (会員18人, 学生0人, 非会員7人)
演題: 多項目自動血球分析装置 XN シリーズの特徴紹介
萩原 朋子 シスメックス株式会社 北関東支店 プロダクト営業課
- 9) 【第124回新潟支部微生物研究会】 2013.11.30
参加人数: 81人 (会員71人, 学生0人, 非会員10人)
演題: 検体採取と保存
田端 篤 信楽園病院
グラム染色
田中 利佳 新潟市民病院
同定と感受性試験
草間 文子 新潟大学医歯学総合病院 診療支援部臨床検査室
感染管理に対する臨床検査技師の役割

奥住 捷子 北里大学北里生命科学研究所病原微生物分子疫学

10) 【形態部門一般検査分野・新潟支部一般検査分野合同研修会】 2013.12.07

参加人数：57人（会員54人，学生0人，非会員3人）

演題：血尿診断ガイドライン2013のポイントと検査部の対応

油野 友二 金沢赤十字病院

UF1000i の運用例

中川 智 新潟市民病院

UF1000i の赤血球形態について

齋藤 清美 社団法人新潟県労働衛生医学協会 臨床検査部

UF1000i の細菌スキャッタグラムについて

千味 和宏 済生会新潟第二病院

2. 総会及び幹事会

- 1) 支部定期総会・第1回新潟支部幹事会 平成25年2月23日（水）新潟大学医歯学総合病院12階大会議室
- 2) 第2回新潟支部幹事会 平成25年3月22日（金）18：30～ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 3) 第3回新潟支部幹事会 平成25年4月17日（水）18：30～ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 4) 第4回新潟支部幹事会 平成25年5月22日（水）18：30～ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 5) 第5回新潟支部幹事会 平成25年6月26日（水）18：30～ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 6) 第6回新潟支部幹事会 平成25年7月31日（水）18：30～ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 7) 第7回新潟支部幹事会 平成25年9月18日（水）18：30～ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 8) 第8回新潟支部幹事会 平成25年10月16日（水）18：30～ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 9) 第9回新潟支部幹事会 平成25年11月13日（水）18：30～ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 10) 第10回新潟支部幹事会 平成25年12月18日（水）18：30～ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 11) 第11回新潟支部幹事会 平成26年1月22日（水）18：30～ 新潟県臨床検査技師会事務所

平成26年度事業計画（案）

平成26年度は一般社団法人に移行して初年度となる。基本的には事業をそのまま引き継ぐこととなる。新規または重要な事業を下記の通り計画する。

【総務部】

- ①一般社団法人移行に伴った、公益目的支出計画の検証を行う。
- ②新しい規定の検証を行う。

【学術部】

- ①第63回日本医学検査学会の運営に当たる。
- ②日臨技における学術組織再構築の検証を行い、次年度からの体制を検討する。
- ③検査研究部門活動の助成金申請を20の研修会を目標とする。

【広報部】

- ①ホームページの支部活動を一元化して充実させる。

【総務部】

1. 会務の執行体制

平成26年度は役員任期後期にあたるが、円滑な業務運営を進めるためにも、各種規定・マニュアル等の見直しと役員間の連携を強化し、さらなる新臨技の発展と会員サービスに努めたい。

また、当会において事務局（専従）はなくてはならない機能となっており、会員および各県技師会・日臨技との連絡・調整の場として、更なる会員サービス向上を図りたい。

組織強化の面からは、日臨技、北日本支部、新臨技支部、会員各位と協力しながら情報交換を図り、一人でも多くの会員から技師会の意義を感じ取ってもらえる環境・体制作りを整えて行きたい。

新公益法人制度改革の一般社団法人への移行については、新潟県福祉保健部より定款および申請に必要な書類等のご指導のもと申請を行い、4月1日からの一般社団法人の移行認可が決定している。

今後も一般社団法人として、国民および県民の保健・医療・公衆衛生に貢献する団体として、関連事業へ積極的に参加し活動していく。

2. 諸会議

1) 理事会・常任理事会

会議の招集、運営が非常に厳しい状況ではあるが、連携を密にするためにも、会議時間の短縮や運営方法を再検討しながら、総会に次ぐ議決機関として年6回の理事会と常任理事会を開催したい。

2) 三役会議・各部会議

諸会議の立案や各種業務内容の検討・調整を図るため、必要に応じて適宜開催する。

3) 各種委員会

本会活動の要としての役割を担っているが、本年度も更に活発に運営して行きたい。

災害被災県としての経験を踏まえ、今後の災害に備え災害対策委員会を立ち上げ災害支援マニュアルを作成し、全国から注目されている。災害支援マニュアルにある災害支援メーリングリストは、災害時の支援活動や会員の安否確認に威力を発揮できるものと期待しており、多くの会員から賛同いただき登録者を増やしていきたい。

4) 日本医学検査学会 WG

今年度、5月開催の第63回日本医学検査学会を成功させるべく、WG各部局委員の積極的な活動により準備を進めている。全国の会員を始め、多くの新臨技会員からも積極的に参加いただき、新しい医療技術の知見や、会員間の情報収集の場として活用いただきたい。

3. 組織対策

1) 臨床検査セミナー

毎年、第1回通常総会と同時開催している臨床検査セミナーは、第9回を迎え技師会事業として定着している。内容も市民公開講座による臨床検査技師のアピールや、臨床検査技師の卒後教育等を企画し自己研鑽の場として今後も積極的に開催していきたい。

2) 各支部との連携

各支部持ち回りの秋の学会運営が定着しており、開催支部の特色を出しながら学術部と支部の連携のもとに多くの会員参加を募り、本会の事業方針の展開と臨床検査の発展を目指したい。

3) 入会対策

益々厳しくなる医療情勢ではあるが、職能団体としての機能をさらに発揮するためには組織拡大と成熟が重要であり、各支部、各施設の理解と協力を得ながら新入会員を確保して行きたい。

また、臨床検査技師の地位向上および職域拡大を進めるためにも、技師連盟への入会促進に積極的に働きかけていく。

4. 公益活動（地域保健医療活動）

一般社団法人として更なる県民の保健・医療・公衆衛生の向上と臨床検査技師の社会貢献による知名度向上を目的に、日臨技の事業および学会時の公開講演や健康展、関連職種団体との連携強化を進め、本年度も地域保健医療活動に積極的に参画して行く。

5. 求人情報の提供

求人情報の提供として日臨技への情報登録に留め、会員へは新臨技ニュースやホームページ等で求人情報を提供したい。

6. 表彰関係

1) 篠川至賞

平成26年度で第32回となる篠川至賞は、その制定主旨により、各支部からの推薦者の中より篠川至賞選考委員会の審査を経て表彰されるものであり、会員の励みにもなっている。検査研究部門からも情報協力いただきながら各支部からの積極的な推薦をお願いしたい。

2) 会長表彰

特別功労表彰、永年会員功労表彰は、新臨技表彰規定に基づき、それぞれの基準に該当する者について表彰委員会の審議を経て、平成26年度通常総会において表彰する。

3) 生涯教育奨励賞

多くの会員の生涯教育および学術活動への参画と活性化を求めべく、分野に関わらず最多得点者の上位3名を推薦する。

4) 生涯教育新人賞

臨床検査教育の場としての研修会等への参加を通じ、更なる技師会活動への参画に期待し、分野に関わらず20代会員の最多得点終了者を表彰する。

【学術部】

1. 学会

平成26年5月17日、18日に第63回日本医学検査学会を朱鷺メッセ、ANA クラウンプラザホテル、ホテル日航新潟を会場に開催予定である。一般演題は707演題と多数のお申し込みを頂き、それに加え公開講演、特別講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ、学会長特別企画等、第63回日本医学検査学会に参加される会員にとって有意義な学会となるよう努めたい。渡邊学会長、山崎実行委員長のもと、スムーズな進行と活発な質疑応答を期待し、日本医学検査学会で訪れる他県会員を新潟の魅力でおもてなししたい。

平成26年度新潟県臨床検査学会は日本医学検査学会を開催することで開催を取りやめ、平成27年度に盛大に節目の90回を開催する予定である。

2. 検査研究部門

検査研究部門が行う各種研修会は、技師会において最も重要な活動のひとつである。医療制度や各分野における検査技術は大きく変化し、新たな知識や技術を臨床検査技師が習得していくことは極めて重要である。これらの知識や技術を学ぶ各種研修会の果たす役割は大きい。

検査研究部門は、生物化学分析部門（臨床化学分野、免疫血清分野、染色体・遺伝子分野）、生理機能検査部門（生体機能分野、生体画像分野）、形態検査部門（細胞分野、病理分野、一般検査分野、血液分野）、感染制御部門（微生物分野、疫学・公衆衛生分野）、移植検査部門（輸血・移植分野）、総合管理部門（管理運営分野）の6部門13分野で構成される。

各分野の活動費助成金は、昨年度と同額の8万円とし、当事者負担の原則の下で過剰な負担が及ばない程度の参加費で運営経費を補完する。非会員の研修会参加費は、会員の3倍とし、会員利益と活動費補完をはかる。また、参加は会員優先とし特に人気の高い実習形式研修会では会員に不利益が生じないものとする。

研修会の内容は、若手技師や認定技師等の資格取得教育、最新情報などを考慮して、様々な状況にある会員に有用な情報をバランスよく発信できるような体制を整備する。

技術や知識が複数の分野に係る内容に関しては、複数分野での合同研修会や相互補完研修会を企画する。各研究分野と協力し、系統的な人材育成や生涯教育を行い、魅力ある学術活動を目指したい。研修会の形式は、講演に加えて、実習形式による研修会を推進する。

研究分野や支部との連絡を密に行い、会員が他分野など多くの研修会に参加し、幅広い知識や技術を習得できるよう、研修会開催日の重複を避け、開催地の地域格差を軽減する。

若手技師に対する学会発表や論文執筆などの技術的サポート体制を整備し、県学会や支部学会、全国学会での学会発表、医学検査をはじめとする学術雑誌への論文投稿を推進したい。

また、今年度に新潟県で開催される第63回医学検査学会では、多くの会員の参加を促し、その経験を以って、新たな学術活動に挑戦することを望みたい。

3. 精度管理事業

本事業は新潟県医師会が新潟県から委託を受け、新潟県臨床検査精度管理協議会を設置して推進している事業である。本会としては、会員の技術向上に重要な事業であるという位置づけで本年度も積極的に協力していく。

関係専門スタッフで構成された精度管理委員会の中心活動として、本事業の内容を更に充実、発展させていきたい。また本年度も臨床化学、微生物、血球計算の調査を可能な限り実施していきたいと考えている。平成19年度より日臨技データ標準化事業がスタートし、それを踏まえ実施項目を増やし、標準物質が入手可能な項目については随時評価を行ってきたが、本年度もそれらに努めたい。また配送及び梱包方法をより検討し、ミスの無いように実施していきたい。更に実施要項ダウンロード、結果入力について Web 利用を検討し、会員にとってより簡便になるように努めていきたい。

また、日臨技の「臨床検査室精度保証認証制度」についても今年度は多くの施設が申請を行っていただくように啓発を進めていきたい。

4. 生涯教育

生涯教育研修制度は、臨床検査技師の知識や技術水準の維持・向上を目的とし、会員の自発的な学習を組織的に援助する制度である。会員は定められた履修期間・カリキュラムを基に履修点数を取得する。

日臨技情報総合システム（JAMTIS）で管理されており、行事登録や参加者登録は各都道府県技師会で行っている。

本年もマニュアルを基に各検査研究部門・各支部担当者から登録作業を行っていただく。不明な点があれば、県担当理事との連携を密にし、円滑な事業の推進に努めたい。また、ボランティア活動や臨床検査の普及のための啓発活動などに対して生涯教育行事登録を行い、活動を支援していく。

【広報部】

新臨技会誌、新臨技ニュースおよび新臨技ホームページの運営を通して全会員へ向けたレスポンスの良い情報を例年通り安定提供したい。具体的には、昨年同様ではあるがホームページでの各種研修会案内や公益活動予定（ボランティア募集 含む）さらに新潟県臨床検査学会要綱、一般演題投稿規定等を情報が入り次第迅速に対応していく。懸案事項の各支部ホームページ運営では、委員に負担のかからないソフトウェアやWEB等を利用して更新が定期的に行われることにより、各支部会員に還元できるシステムを構築したい。今年開催が予定されている全国学会を成功させるため時代のニーズに対応した広報活動をしていきたい。そのためにも県理事、各支部理事および会員全員で情報の共有化を尚一層強化していかなければならない。新臨技会誌、新臨技ニュース、新臨技ホームページはその大きな役割を担っており、広報委員一同は、会誌やホームページの充実に熱意を持って取り組んでいく。

1) 新臨技会誌

会誌発行は291号から294号までの年4回季刊発行を予定する。〔講義〕は学会・研修会等の内容を掲載し、受講できなかった会員のために適宜掲載していきたい。また、講義の内容は部門長を通してすべての分野から投稿していただくように広報活動にも力をいれていきたい。〔研修会報告〕は参加会員の協力により引き続き掲載し、情報提供や新人会員の研鑽の頁としたい。親睦広報に関しては〔ペンリレー〕〔新入会員紹介〕〔検査技師として～私の奮闘記～〕などの掲載で会員相互の親睦をはかり、だれもが参加できる企画を増やしていきたい。さらに、今まで以上に公益活動内容を紹介し、多くの会員にボランティア参加していただくため〔公益活動報告〕を掲載していく。

2) 新臨技ニュース

理事会議事録の掲載を中心に、組織活動、研修会案内、求人情報など速報性のある内容を順次掲載していきたい。発行は理事会終了後の月1回発行しているが、委員の努力により読みやすいレイアウトになっている。求人情報など早めに情報が入手でき好評である。今後も広く会員に読まれるよう工夫していきたい。

3) 新臨技ホームページ

新臨技ホームページは、案内・各支部活動・研究班活動の内容がリアルタイムに閲覧できることより、世代を問わず多くの会員から好評を得ている。今年度から日臨技北日本支部医学検査学会および新潟県臨床検査学会の専用バナーを作成し、会員への見やすさを目指した環境が好評であった。毎年継続できるよう努力する。引続き事務局との連絡を密にして、県内の会員に情報提供できるよう努めたい。

また、昨年同様当技師会は、大規模災害時での施設および会員安否確認のため災害時緊急連絡システム（メーリングリスト）を全国に先駆けて構築している。インターネット・インフラの強みが先の大震災で証明され、災害被災県である我が県が、災害支援事業でリーダーシップを発揮し全国を牽引していくためにも、一人でも多くの新臨技会員の登録をお願いしたい。（詳細は県技師会ホームページ参照）

平成26年度収支予算（案）

予算編集に当たって

今回の予算編集は事業収益における助成金収入が減少することや第63回日本医学検査学会開催を見込んだ編成を行い、平成26年度の予算編成を行った。昨今の経済状況の低迷により昨年同様、企業合併などによる賛助会員および広告数の減少ならびに、団塊の世代の退職も重なり会員数の減少も懸念されるが、今後も会員数の維持、増加に努めたい。また、一般社団への移行に伴い、科目名の変更を行いたい。

以下に、予算編成の要点を示し、平成26年度予算の提案としたい。

収入について

1. 受取会費収入：正会員は昨年よりやや増加傾向の1,250名とし、賛助会員は65口とした。
2. 事業収益：会誌広告収入は会員名簿作成がないので減額とした。
3. 助成金収入：東臨技からの助成金がないことから減額とした。
4. 雑収入：県学会の賛助会員施設からの協力金は減額とした。

支出について

1. 事業費：中科目の学会研究費を検査学会研修費と科目名を変更し、小科目であった精度保証事業費を公益目的事業のひとつであることから、中科目の臨床検査精度保証費とした。
総会費は小科目を準備日と生涯教育表彰事業とした。
広報費の会誌発行費を会員名簿作成がないため減額し、広報編集費は東臨技より災害対策ホームページ作成費の助成金がないので減額とした。
組織広報費の小科目は支部強化費のみとし、組織広報費、災害対策費は広報費へ移行した。
2. 管理費：印刷費は各施設へ定款、規程の配布があるので増額とした。
会議費旅費は旅費規程変更にともない、増額とした。
電話費は、全国学会の問合せが増加をみこみ増額とした。
3. 特定預金支出：篠川至賞積立金を行う。

平成26年度収支予算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

収入の部

大科目	中科目	小科目	平成26年度予算	平成25年度予算	差異	摘要
受取会費			8,175,000	8,152,500	22,500	
		正会員会費	6,875,000	6,792,500	82,500	1,250名
		賛助会員会費	1,300,000	1,360,000	△ 60,000	65口
事業収益			4,040,000	4,700,000	△ 660,000	
		参加費収入	1,900,000	1,500,000	400,000	県学会、検査研究部門
		会誌広告収入	640,000	1,000,000	△ 360,000	会誌広告料
		助成金収入	1,500,000	2,200,000	△ 700,000	日臨技、県医師会
雑収益			805,000	1,005,000	△ 200,000	
		預金利息収入	5,000	5,000	0	
		協賛金収入	800,000	1,000,000	△ 200,000	協力金
	経常収益計	A	13,020,000	13,857,500	△ 837,500	
	前期繰越収支差額		0	1,000,000	△ 1,000,000	
	収入合計	B	13,020,000	14,857,500	△ 1,837,500	

支出の部

大科目	中科目	小科目	平成26年度予算	平成25年度予算	差異	摘 要	
事業費			10,820,000	9,800,000	1,020,000		
	検査学会研修費			6,020,000	4,450,000	1,570,000	
		学 会 費		2,000,000	1,000,000	1,000,000	第63回日本医学検査学会
		運 営 費		1,400,000	1,000,000	400,000	セミナー開催費
		学 術 部 活 動 費		2,500,000	2,000,000	500,000	研究部門活動費
		学 術 雑 費		120,000	100,000	20,000	源泉徴収税等
		負 担 金	0	350,000	△ 350,000	東北技師会負担金	
	臨床検査精度保証費			400,000	400,000	0	新潟県精度管理事業等
	広報費			3,550,000	4,100,000	△ 550,000	
		会 誌 発 行 費		2,300,000	2,500,000	△ 200,000	会誌 4号
		広 報 編 集 費		650,000	1,000,000	△ 350,000	広報委員会・HP維持管理費
		組 織 公 報 費		400,000	400,000	0	各支部公益事業負担
		災 害 対 策 費		200,000	200,000	0	
	総会費			250,000	250,000	0	
		準 備 費		150,000	250,000	△ 100,000	会場費用等
	組織強化費	生涯教育表彰事業費		100,000	0	100,000	賞状作成費等 総会準備費から科目分離
		支 部 強 化 費		600,000	600,000	0	各支部助成金
	管理費			5,280,000	4,960,000	320,000	
		事務費			2,550,000	2,450,000	100,000
備 品 費				200,000	200,000	0	パソコンソフト備品等
消 耗 品 費				100,000	100,000	0	文房具, 封筒
印 刷 費				450,000	350,000	100,000	各種案内, 定款印刷 等
通 信 費				500,000	500,000	0	案内発送
交 通 費				350,000	350,000	0	日臨技, 東北会議
渉 外 対 策 費				300,000	300,000	0	関連団体, 支部対策
		給 料 手 当		650,000	650,000	0	事務職員
会議費		旅 費		800,000	600,000	200,000	理事会旅費
事務所費				1,750,000	1,730,000	20,000	
		維 持 管 理 費		1,600,000	1,600,000	0	賃貸料, 電気代
		電 話 費		120,000	100,000	20,000	
		事 務 所 雑 費		30,000	30,000	0	
雑費				180,000	180,000	0	
		交 際 費		150,000	150,000	0	関連団体慶弔費
		雑 費		30,000	30,000	0	
特定預金支出		篠川至賞引当金		1,000,000	0	1,000,000	
予備費				820,000	97,500	722,500	
当期支出合計	C		17,920,000	14,857,500	3,062,500		
当期収支差額	A - C		△ 4,900,000	△ 1,000,000	△ 3,900,000		
次期繰越収支差額	B - C		△ 4,900,000	0	△ 4,900,000		

注 1 : 短期借入金限度額 1,000,000円

注 2 : 債務負担額はない